

Area Guidemap

銀座

GINZA



江戸時代は両替屋が軒を連ねた銀座 西洋文化の発信地としても栄え、 海外の一流ブランド店と 老舗が共存するエリア

慶長17年(1612)、江戸幕府は銀貨鑄造所をこの地に置き、現在の銀座通りには両替商が軒を連ねました。「銀座」とは銀貨を扱う役所名で、金貨(小判)を扱う役所は「金座」と呼ばれていました。町名としての銀座になったのは明治2年(1869)のことで、このとき新両替町1丁目は銀座1丁目となりました。こうした歴史の中で銀座には、江戸時代からの旧跡をはじめ日本の近代化を推進した記念碑等が多くあり、説明板を設け、散策される方に案内しています。また、早くから西洋文化の発信地として栄えてきた繁華街は、日本一洗練されたおしゃれな街で、海外の一流ブランドショップや何代も続く老舗などの名店が、中央通りを中心に軒を連ねています。

銀座イベントガイド

5月5日

銀座柳まつり・ ゴールデンパレード

都のシンボルロードに指定され西銀座通りに柳が植樹されたことを記念し、一年に一度、通りを歩行者天国にし、パレードや様々な催しが開催される。



5月中旬～下旬

東をどり

新橋花柳界の特別な催し。本来なら新橋の高級料亭でしか見ることのできない、新橋芸者の粋で華やかな踊りを新橋演舞場にて鑑賞することができる。



6月初旬～中旬(西暦の偶数年が本祭)

山王祭

江戸城内に入御した御神輿を三代將軍家光公以来の歴代將軍が上覧拝礼したという「天下祭」として盛大を極めた。300mもの祭礼行列が続く「神幸祭」は必見。



8月第1日曜日(前後の日曜日の場合あり)

ホリデープロムナード 「浴衣で銀座」

日本初の歩行者天国を記念して銀座通りで行われるイベント。浴衣や和装で真夏の銀座を訪れる方々に、和で彩られた銀座の街で打ち水などを楽しむことができる。



8月1日～8月7日

能楽金春祭り

銀座八丁目の金春通りにて、能楽にちなんだ講座や親子体験教室が行われる。8月7日の最終日には金春通りの路上で能が演じられる。



10月上旬～(約1ヶ月)

中央区観光商業まつり

中央区の秋の魅力がたっぷり味わえるイベント。期間中、デパートや各商店街・アンテナショップなどで様々な関連行事が行われる。



10月下旬～11月上旬

オータムギンザ

銀座の秋の風物詩「銀座会」をはじめ、「銀座八丁神めぐり」「銀座レストランウィーク」「新富座子ども歌舞伎」など、各種イベントで銀座を楽しむことができる。



10月下旬または11月上旬

中央区まるごとミュージアム

まち全体をミュージアムにみたくて、無料のバスや船で区内を回遊しながら、名所・旧跡、画廊、水辺の風景など中央区の豊かな文化的魅力を体験できる。



銀座の見どころ

●数寄屋橋の碑

mapA-2

数寄屋橋は、江戸時代初期に江戸城の外堀に架けられた橋で、有楽町側には有名な南町奉行所がありました。明治以降は、長く銀座の入口として親しまれ、菊田一夫脚本の『君の名は』の舞台としても有名です。外堀の埋め立てに伴い昭和33年(1958)に撤去されました。現在は数寄屋橋公園内に記念碑が立っています。



●石川啄木歌碑

mapA-2

岩手県の詩人石川啄木(1885~1912)は、明治41年(1908)に再上京後、盛岡中学の先輩、金田一京助の援助を受けながら創作活動を行い、翌年には京橋区滝山町(現在の銀座六丁目)の朝日新聞社に入社しました。以後、26歳で死去するまでの約3年間、校正係の仕事に従事しながら、創作活動を続けますが、明治45年(1912)に死去します。朝日新聞社の跡地には歌を刻んだ歌碑があります。



●金春屋敷跡

mapA-3

江戸時代、金春・観世・宝生・金剛の四家は幕府直属の能役者として現在の中央区域内に屋敷を拝領していました。このうち金春家は室町時代から栄えた伝統ある家柄で、その屋敷は現在の銀座八丁目の6~8番に相当する規模でした。屋敷の移転後、跡地には芸者が集まり花街として発展しました。毎年8月金春祭りが開催され最終日には路上奉納能が演じられます。

●芝口御門跡

mapA-3

宝永7年(1710)朝鮮通信使の江戸参府に際して、わが国の威光を示すために建造された枳形門です。しかし享保9年(1724)に焼失し、跡地には門の意匠を施した銅板が埋めこまれています。

●歌舞伎座

mapC-2

一年を通して歌舞伎が上演され、文字通り歌舞伎の殿堂です。初代は明治22年(1889)に開場。当時は、時代の先端を行く木造洋式のハイカラな建物でした。戦災を被り、昭和26年(1951)再建。そして平成25年(2013)4月に開場した第五期の歌舞伎座は長年親しまれた第四期歌舞伎座の外観、内観を受け継ぎながら最新鋭の設備を備え、劇場とオフィスタワーの歌舞伎座タワーからなる複合施設「GINZA KABUKIZA」の顔となっています。そのタワーの5階には、歌舞伎をテーマにした文化施設「歌舞伎座ギャラリー」や、劇場の上には作られた「屋上庭園」があります。



●新橋演舞場

mapB-3

京阪の歌舞練場や演舞場を手本に、新橋芸者の技芸向上とこれを披露する場として大正14年(1925)に開場しました。毎年初夏には新橋芸者による「東をどり」の公演を行うほか、歌舞伎や新派を始め、幅広いジャンルの公演を行っています。

●^{とうだい}燈臺(区民有形文化財)

mapB-2

昭和6年(1931)、彫刻家の北村西望(1884~1987)が制作した作品です。北村西望は長崎市にある「平和記念像」の作者としても有名です。燈臺は、兜を装い、力に満ちた青年が松明を持ち、獅子をしたがえた力強い造形の銅像彫刻です。昭和8年(1933)9月1日には、関東大震災10周年の記念塔として石造の台座上に設置されました。



●京橋の親柱(区民有形文化財)

mapC-1

京橋は日本橋と同年の慶長8年(1603)に創橋されたといわれています。江戸時代には木橋でしたが、明治8年(1875)に石造りアーチ橋、同34年には鉄橋となりました。昭和38年(1963)から40年にかけて京橋川の埋め立てに伴って撤去されて、現在中央通りの歩道に石造親柱が3基残されています。このうち、擬宝珠のある2基は、明治8年のときのものです。



●佐久間象山塾跡

mapB-3

江戸時代後期の思想家で、信濃国(現在の長野県)松代藩士佐久間象山(1811~1864)は、儒学を修めた後、神田お玉ヶ池付近に塾を開き、さらに松代藩の江戸藩邸学問所頭取なども務めました。後に海防の問題に専心して西洋砲術や蘭学を学び、海防方策の講義などを行う目的で、木挽町五丁目(現在の銀座六丁目付近)に兵学塾を開きました。門下には、勝海舟・吉田松陰・橋本左内・河井継之助など、多くの有能な人材が集まり、土佐藩士坂本龍馬の名も門人帳に確認することができます。

●歩行者天国の発祥(中央通り)

銀座中央通り(銀座通り口交差点~銀座八丁目交差点)で実施されている歩行者天国は、昭和45年(1970)に初めて行われました。(土・日・祝日の正午から、4~9月は18時、10~3月は17時まで)

幸福稻荷神社 mapB-1

商売繁盛、家内安全、縁結びにご利益があります。

[銀座一丁目(並木通り)]



銀座稲荷神社 mapB-1

火防や商売繁盛にご利益があるとされる神社で、その名の由来はここ銀座2丁目が銀座発祥の地であることからつけられました。

[普段は非公開となっています]



龍光不動尊 mapB-2

障りを幸いに転じ、願望成就、家内円満、商売繁盛にご利益があるといわれています。龍光は流行に通ず、として、ファッション関係の人の祈願にもご利益があるといわれています。

[松屋銀座屋上]



朝日稲荷神社 mapB-2

商売繁盛、家内安全の神として有名で、古より銀座に鎮座する守護神です。

[銀座3丁目(大広朝日ビル)]



成功稲荷神社 mapA-2

満金龍神成功稲荷を祀り、商売繁盛、事業成功にご利益があります。

[普段は非公開となっています]



0.2km
徒歩約2分

0.3km
徒歩約4分

0.1km
徒歩約1分

0.9km
徒歩約10分

0.2km
徒歩約3分

0.3km
徒歩約4分

0.3km
徒歩約4分

まち歩きコース

①

銀座八丁神社巡り

0.3km
徒歩約4分

0.2km
徒歩約2分

0.3km
徒歩約4分

0.4km
徒歩約4分



豊岩稲荷神社 mapA-3

芸能関係者の崇拝を集めています。また、縁結びの神として知られ、女性の参拝者が多く立ち寄りです。

[銀座鈴らん通りから路地を入る]



竈護稲荷神社 mapB-2

京都伏見稲荷大社より勤務してお祀りしました。関東大震災時に日暮里方面からの大火より町内を守ったことは有名です。

[GINZA SIX屋上]



あづま稲荷神社 mapB-2

京都伏見稲荷大社より分霊してお祀りしました。戦後にお祀りされてから火災が無くなったということより火防、盗難除けの稲荷。

[あづま通り・三原小路]



歌舞伎稲荷大明神 mapB-2

歌舞伎興行の大入りや安全、お客様や舞台関係者の平穩無事などを祈願して祀られています。

[歌舞伎座正面右側]



銀座出世地藏尊 mapB-2

(区民有形民俗文化財)
ご利益は「祈願して成就せざるはなし」といわれているお地藏さん。

[銀座三越9階銀座テラス]

金春屋敷跡

mapA-3

元国鉄踏切信号機

mapB-4

この信号機は、昭和6年(1931)から昭和62年(1987)までの56年間、国鉄汐留駅から東京都中央卸売市場築地市場までの貨物引込線の踏切として使用されました。最盛期には、1日150輛に達する貨物車が通過しましたが、汐留駅廃止と共に引込線も撤去されることになりました。しかし地元住民の要望により、銀座には珍しい鉄道踏切信号機として現在も保存されています。

銀座柳の碑

mapA-3

銀座煉瓦街の完成時、街路樹として松・楓・桜などを植えました。すぐに枯れてしまい、柳だけが根付きました。その後、道路拡張や大火により何度か柳が銀座から姿を消しましたが地元の人々の尽力によりよみがえり、柳の緑が一面を覆うようになりました。



煉瓦銀座の碑

mapC-1

明治5年(1872)、和田倉門から出火した火事が銀座一帯を焼きつくし、築地ホテル館にまで及ぶ大火になりました。これを機に、時の東京府知事由利公正は不燃性の都市を建設することを主張し、銀座煉瓦街の誕生となりました。日本の文明開化のシンボルであったレンガ建築が立ち並んだことを記念して碑が立てられました。記念碑の奥にはガス灯も復元されています。



京橋の親柱

mapC-1

銀座発祥の地

mapB-2

「銀座」は、江戸時代金貨(小判)を扱う金座に対し、銀貨の鑄造・取締りを司った幕府の機関で、慶長17年(1612)駿河から江戸の新町替町(現在の銀座二丁目)に移されました。これが銀座の地名の起こりです。のちに銀座役所は、かつての蛸殻町(現在の日本橋人形町一丁目)へ移設され、明治2年(1869)、造幣局が設置されるまで存続しました。



まち歩きコース

②

銀座おすすめポイント

0.5km
徒歩約6分

0.2km
徒歩約2分

1.2km
徒歩約14分

0.1km
徒歩約1分

0.3km
徒歩約3分

0.5km
徒歩約6分

新橋演舞場

mapB-3

0.2km
徒歩約2分

東京商工会議所

mapB-3

発祥の地

当時、明治政府は外国貿易振興を重要視していましたが、国内の商工業者の意見を集約する代表機関が存在しなかったため諸外国との不平等条約の改正が難航していました。そこで渋沢栄一に商工業者を代表する機関の設立を働きかけ、明治11年(1878)、日本初の商工会議所「東京商法会議所」が設立されました。



0.1km
徒歩約1分

佐久間象山塾跡

mapB-3

0.3km
徒歩約4分

0.4km
徒歩約5分

歌舞伎座

mapC-2

0.4km
徒歩約4分

0.4km
徒歩約5分

銀座四丁目交差点

mapB-2

銀座の顔である四丁目の交差点。和光の時計塔は銀座のランドマークとして親しまれています。



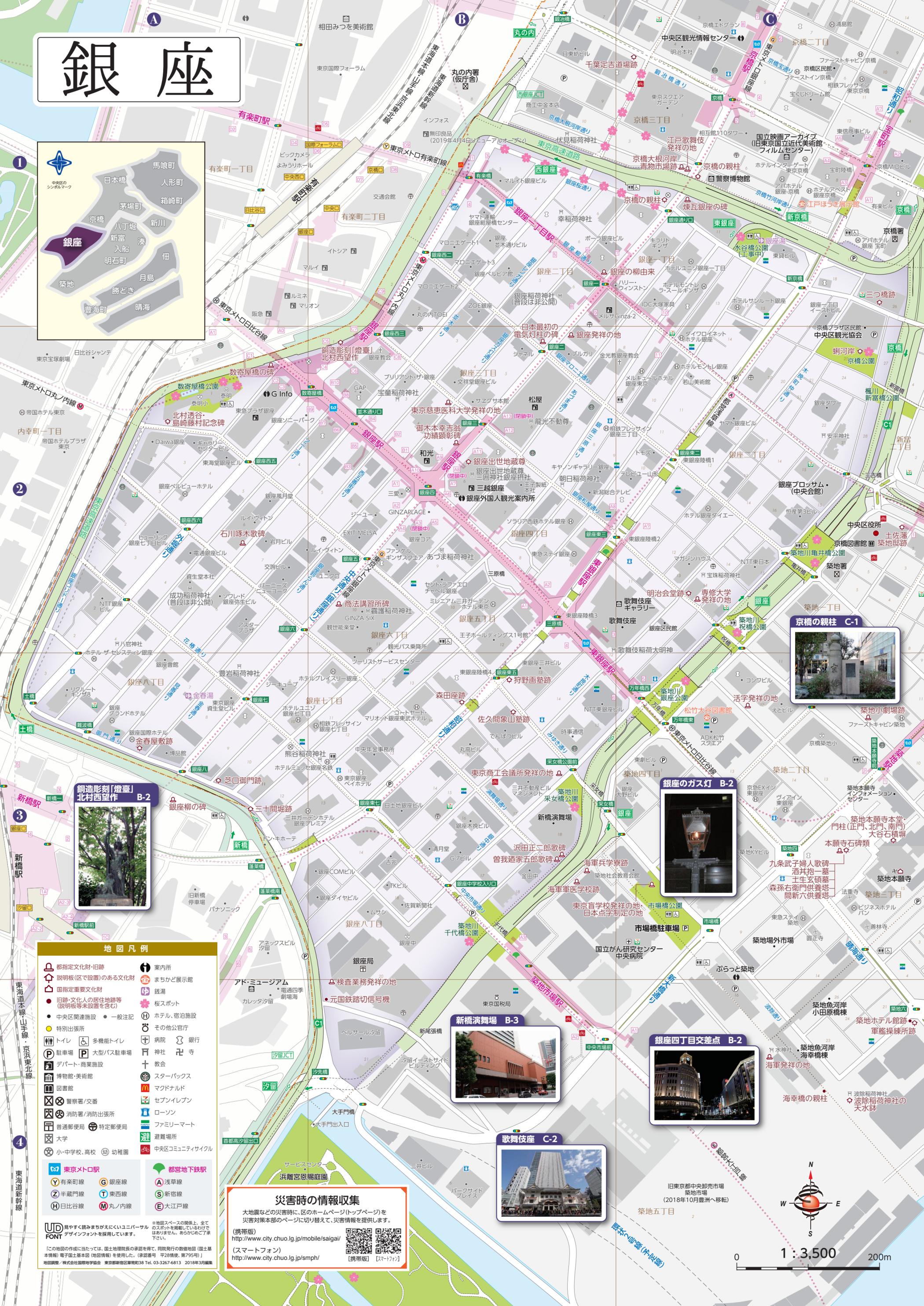
銀座のガス灯

mapB-2



銀座三丁目にある銀座ガス灯通りには、復元されたガス灯が4基灯っています。明治時代に建てられた85基のガス灯が、当時の銀座を照らしたことを記念したものです。文明開化の先駆けとなった銀座ですが、ガス灯が点灯した時の人々の驚きは大きかったことでしょう。

銀座



銅造彫刻「燈臺」
北村西望作 B-2



銀座のガス灯 B-2



新橋演舞場 B-3



歌舞伎座 C-2



京橋の親柱 C-1

地図凡例

都指定文化財・旧跡	案内所	浅草線
説明板(区で設置)のある文化財	まちかど展示館	新宿線
国指定重要文化財	銭湯	大江戸線
旧跡・文化人の居住地跡等(説明板等未設置を含む)	桜スポット	
中央区関連施設	ホテル・宿泊施設	
特別出張所	その他公庁	
トイレ	病院	銀行
駐車場	神社	寺
デパート・商業施設	教会	
博物館・美術館	スターバックス	マクドナルド
図書館	セブンイレブン	ローソン
警察署/交番	ファミリマート	避難場所
消防署/消防出張所	普通郵便局	特定郵便局
大学	小・中学校・高校	幼稚園
東京メトロ駅	都営地下鉄駅	
有楽町線	丸の内線	
半蔵門線	東西線	
日比谷線		

災害時の情報収集

大地震などの災害時に、区のホームページ(トップページ)を災害対策本部のページに切り替えて、災害情報を提供します。

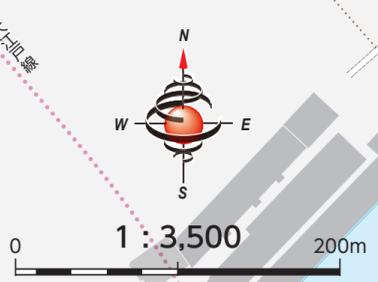
(携帯版)
<http://www.city.chuo.lg.jp/mobile/saiga/>

(スマートフォン)
<http://www.city.chuo.lg.jp/smph/>

UD FONT
 見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※地図スペースの関係上、全てのスポットを掲載しているわけではありません。あらかじめご了承ください。

【この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院長の発給する地図(国土基本情報) 電子国土基本図(地図情報)を使用しました。(保証書 平28第100号)】
 地図調整:株式会社国土地理院 東京都市圏部第38課 Tel. 03-3267-6813 2018年3月編纂





Tokyo Chuo City
Tourist Information Center

中央区観光情報センター



外国人を含む旅行者に、
東京・中央区の魅力を発信する
インフォメーションセンターです。
お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 東京都中央区京橋二丁目2番1号
「京橋エドグラン」内地下1階及び1階の一部
- TEL 03-6262-6481
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 年中無休
- HP <http://centraltokyo-tourism.com>



中央区観光協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-25-3 京橋プラザ 3階
TEL 03-6228-7907

中央区観光協会ホームページ

www.chuo-kanko.or.jp



Japan.
Endless
Discovery.



TOKYO